

あの感動をもう一度

2012年

「ぎふ清流国体」 「ぎふ清流大会」

土岐市では「ウエイトリフティング」と「ソフトテニス」

輝けはばたけだれもが主役

平成24年(2012年)に、第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」と第12回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」が開催されることが正式に決まり、土岐市では、国体の正式競技のうち「ウエイトリフティング競技」と、「ソフトテニス競技」の成年男子を実施することになっています。大会の成功に向け市民の皆さんのご協力をお願いします。

国内最大のスポーツの祭典

国民体育大会「国体」は、広く国民の間にスポーツを広め、スポーツ精神を高揚し、国民の健康増進と体力向上を図ることなどを目的として各都道府県持ち回りで毎年開かれる国内最大のスポーツの祭典で、冬季種目を行う冬季大会と夏・秋季種目を行う本大会の二つの大会で構成されます。

夏・秋季大会は、以前は別々に開催されていましたが、2006年の兵庫国体から一本化されました。

国体を主催するのは、(財)日本体育協会、文部科学省、開催地となる都道府県の3者で、各競技会はこれに加えて競技団体と開催地となる市町村も主催者となります。

大会では、各都道府県の代表選手が陸上競技、水泳など40競技(うち3競技は冬季)で天皇杯・皇后杯を目指し

て行う「正式競技」のほか、得点対象とならない「公開競技」や、県民が参加するレクリエーションスポーツの催し「デモスポ行事(デモンストラーションとしてのスポーツ行事)」が行われることになっています。

岐阜県では47年ぶりの

国民体育大会

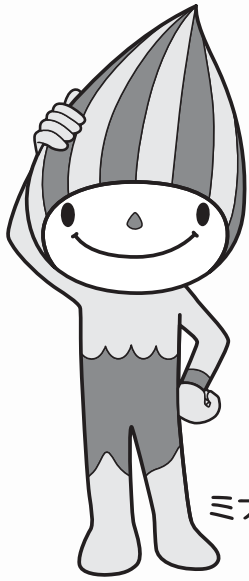
岐阜県で国体が開催されるのは、昭和40年に第20回国体が開催されて以来47年ぶり2回目となります。

この岐阜国体開会式で、炬火^{きよか}リレーの最終ランナーを務めた高校生が、現在の古田県知事であることは知る人ぞ知るエピソードです。

この岐阜国体では、本市でウエイトリフティング競技が現在の西部体育館を会場に実施されたほか、軟式野球競技が大徳原球場で実施され、たくさんの市民が声援を送りました。



マスコットキャラクターは「ミナモ」



ミナモ

「ミナモ」はキラキラした川の水面(みなも)に住んでいるキラキラの妖精です。元気いっぱいスポーツと自然が大好き。これからいろいろなスポーツに挑戦したいと思っています。

「ミナモ」は、職業デザイナーを対象にしたコンペで、応募のあった92作品の中から岐阜市出身のアーティスト日比野克彦さんを委員長とする選定委員会で選ばれ「ぎふ清流国体」のマスコットに決まったものです。



「だれもが主役」の大会に

『輝け はばたけ だれもが主役』という「ぎふ清流国体」の合言葉には、大会にかかわるすべての人々がキラキラと輝き、夢と感動を分かち合い、共に未来をつくる国体にしていこうという思いが込められています。

県民総参加の気運を盛り上げ、岐阜県の魅力を全国に発信できるような愛称・合言葉が募集され、愛称10,074件、合言葉9,457件の応募の中から決定されました。



▲ウェイトリフティング競技
(市民センター〔現：西部体育館〕)の様様

▼当時の昭和天皇、皇后両陛下も土岐市をご訪問に



**「ぎふ清流国体」会期は
平成24年9月29日～10月9日**

「ぎふ清流国体」の会期は、平成24年9月29日から10月9日まで、「ぎふ清流大会」(全国障害者スポーツ大会)の会期は10月13日から15日までと決まりました。

市では、近く「ぎふ清流国体土岐市実行委員会」を立ち上げ、競技会に向けた準備を本格化させる計画です。

また、本大会の前年である平成23年には、本市の国体開催競技であるウェイトリフティングとソフトテニスの両競技が、国体のリハーサル大会として開催される予定で、本大会さながらの熱戦が期待されます。

**全国から訪れる方々に
温かいおもてなしを**

ぎふ清流国体には、全国から約2万3千人の選手・監督などが参加する見込みで、本市にも会期中、二つの競技の関係者を中心に大勢の方が訪れます。

全国から集まる選手・監督や関係者の皆さんを土岐市に温かく迎えるとともに、大会を盛り上げるため、県民運動(ミナモ運動)やボランティア活動などを通して、市民の皆さんもぜひご協力ください。



「ぎふ清流国体」 本市開催競技の見どころ

ウエイトリフティング競技

ウエイトリフティングは、直
接目に触れる機会が比較的少な
い競技ですが、第1回の近代オ
リンピック大会から正式種目と
して実施されている歴史あるス
ポーツで、現在は男女ともオリ
ンピック種目となっています。

本市ではオリンピック選手も
輩出。数年来、土岐商業高等学
校からインターハイや国体選手
が出場するなど、県下屈指の競
技のメッカとして地元選手の活
躍が期待されます。

競技は、選手を体重で9階級
に区分し、「スナッチ」と「クリー
ン&ジャーク」の2種目で各3
回試技を行い、最高記録を競い
ます。



試技の重量は選手自身が選択
でき、成功すると1キログラム
単位で好きな重量に増量できま
す。種目ごとで挙げた最高重量
が同じ場合、より体重の軽い選
手が上位となり、二種目の合計
が同じ場合は、早く挙げた選手
が上位となります。なお選手の
体重は、競技開始の2時間前か
ら1時間の間計測されます。

バーもしなる

迫力の瞬間

試技が成功かどうかは3人の
「レフリー」により多数決で判
定されますが、「ジュリー」と
呼ばれる陪審員も判定してお
り、レフリーの判定が覆される
こともあります。

世界記録では体重の3倍、日
本記録では2・75倍を挙げる
選手もあり、バーベルが一気に
引き上げられてバーがしなり、
試技が成功するまでの息をのむ
緊張の瞬間は、迫力満点で醍醐
味の一つです。

県立土岐商業高等学校
ウエイトリフティング部監督
県ウエイトリフティング協会事務局長

おぐり かずしげ
小栗 和成さん

■国体の思い出を教えてください。
さい。

国体には高校2年生から出
場し、13回入賞しました。国
体は全国で一番大きな大会な
ので、自然と熱が入りました
ね。開催地の方の温かい応援
も励みになりました。

■岐阜国体をどんな大会にし
たいですか？

やはり地元の選手の活躍に
期待したいですね。応援にも
熱が入りますし、大会を成功
させる1つだと思えます。地
元の大学生の選手も力を付け



てきており、上位での入賞を
期待しています。また、大会
運営では、選手が存分に力を
発揮してもらえようにした
いですね。

■これからウエイトリフティ
ングを始める選手に向けて一
言お願いします。

3年後の国体に向けて、興
味のある人は、どんどんチャ
レンジして欲しいです。

興味を持ちました。本格的に
始めたのは高校に入学してか
らです。

■競技の面白さや難しさは何
ですか？

ウエイトリフティングは個
人種目なので、自分で練習し
た成果がそのまま試合の結果
につながるのところがやりがい
があります。

みずの ひろやす
水野 博康さん

県立土岐商業高等学校3年
ウエイトリフティング部キャプテン

■ウエイトリフティングを始
めたきっかけは？

おじさんがオリンピック選
手だったので、小さいころか
ら競技の話聞いて、自然に

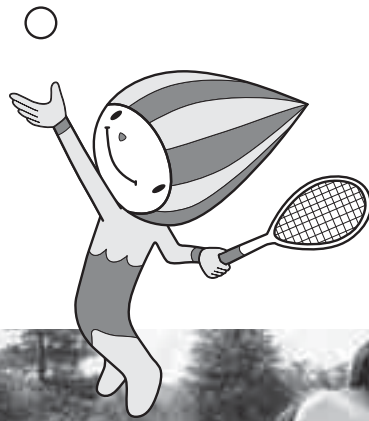
10月18日「健康を守る市民の集い」で ウエイトリフティング体験コーナー

「ぎふ清流国体」の競技について理解を深めていただくため、10月18日(日)にセラトピア土岐で開催する「健康を守る市民の集い」会場内に「ウエイトリフティング体験コーナー」を設けます。お子さんにも体験できる軽量のバーベルも用意しています。ミナモも登場しますので、ぜひお立ち寄りください。

8月29日に市総合公園で開催した「市スポーツフェスティバル」でのウエイトリフティング体験コーナーの様子



「ミナモ」も登場します



ソフトテニス競技

ソフトテニスは、明治17年に日本で生まれ育った伝統ある大衆スポーツで、今では家族ぐるみで楽しむ方も多く、生涯スポーツとしても注目されています。

2人一組で協力し合い、ポジションが重ならないようコート内を左右に移動し、相手チームの位置や動きに注意しながらボールを打ち返すのが基本で、息の合った動きとラリーの応酬は見応え十分です。

国体では、成年男子・女子、少年男子・女子の4種別が実施され、各種別3組編成による都道府県対抗の団体トーナメント戦のため、チームオーダーの組み方にも注目が集まります。なお、ぎふ清流国体では瑞浪市を主催場とした、本市との共同開催となります。

ぎふ清流国体についてのお問い合わせは、スポーツ振興課・国体準備室(内線275)へどうぞ。

難しいところは、6回の試技を1本1本確実に決める集中力を保つことです。

■今後の目標は何ですか？

今年の目標は、新潟国体です。小栗先生と8位入賞を約束しているので、絶対に達成したいです。

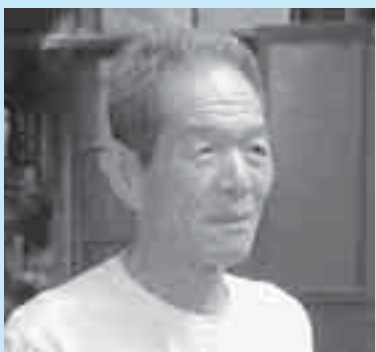
大学3年生で迎える岐阜国体では、調子のピークを合わせ

市ソフトテニス連盟会長

いとう ひろゆき
伊藤 博元さん

■ソフトテニスの魅力は何ですか？

ソフトテニスはダブルスが基本です。前衛と後衛の2人の選手が力を合わせなければ勝つことができません。いわ



せてメダルを取りたいです。



ば小さな団体戦といえます。

私は、中学2年からソフトテニスを始めましたが、71歳の今でもプレーしています。80歳を超える選手もいて、まさに生涯楽しむことができるスポーツですね。

■当時の岐阜国体の思い出はありますか？

体育協会や青年団、婦人会など、町ぐるみで大会をもてなし、お祭りのようなにぎわいだったことを覚えています。■3年後の国体に期待するとは何ですか？

全国で1番大きな大会なので、子どもたちには、間近でレベルの高い試合を見て、自分たちの力にして欲しいと思います。